



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

JUNE 1992. Vol.12
 The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1991~1992)

I P Y's Men and Y's Menettes ... Let's Give ...
 ワイズメン・ワイズメネッツの皆さん ... ささげよう今こそ ...

A P Help unfortunate neighbors with love by leading frugal life.
 つましい暮らしから 今こそ愛の手を

R D Let's Give Dedication to YMCA. 今こそ Y M C A に 献 身 を

D G , C P 『 楽 し も う ! ワ イ ズ の 義 務 を 』

月間強調テーマ "Evaluation & Planning"

OUR MOTTO

"To acknowledge the duty
 that accompanies every right"

「強い義務感を持とう。
 義務はすべての権利に伴う。」

--- 今月の聖句 ---

「この三人のうち、だれが強盗に襲われた人の隣り人になったと思うか。」 彼が言った、「その人に慈悲深い行いをした人です。」 そこでイエスは言われた「あなたも行って同じようにしなさい。」

(ルカによる福音書10章36~37節) 田中穰二君撰

--- 聖句角解説 ---

これは有名なよきサマリア人のたとえ話の一節であるが、強盗にあって半死半生の目にあわされ、道に倒れている旅人を助けたのは、観念過剰の祭司やレビ人ではなく、ふだん混血民族として軽べつされていたサマリア人であった事に注目しなければならない。そしてこの親切なサマリア人こそ、イエス・キリストご自身を象徴しているのではなかろうか。 田中穰二

--- 6月第1例会 ---

日時 1992年6月17日(水) 6:30~8:30 p.m.
 会場 YMCA 国際社会奉仕センター

司会 : 山村幸明君

1. 開 会 点 鐘 : 堀 会 長
2. ワイズソング : 一 同
3. 聖 句 朗 読 : 福永嘉彦君
4. ゲ ス ト 紹 介 : 堀 会 長
5. 日 々 の 糧 及 び 黙 禱 : 一 同
6. 晩 餐
7. 新 旧 会 長 交 代 式
8. 新 中 西 部 長 メ ッ セ ー ジ : 石田正弘中西部長
9. 日 本 区 大 会 報 告 : 出 席 者
10. お 誕 生 お 祝 い : 一 同
11. ニ コ ニ コ 献 金 : ド ラ イ バ ー
12. 委 員 会 ・ 役 員 会 報 告 & Y M C A ニ ュ ー ス
13. 閉 会 点 鐘 : 堀 会 長

例会当番(5班) 山村・福永・隅田・川越・矢部の諸君
 受付・会場準備・後片付などを宜しくお願いします。

--- 6月お誕生のかたがた --- Happy Birthday to following people

鈴木メネット: 4日 * 横山君: 13日 * 平田メネット: 20日 * 平田君: 25日
 黒田メネット: 26日 * 中堂君: 26日 * 津田葉メネット: 28日



5月第1例会報告 隅田 保

私共センテニアルクラブが4月と5月の強調テーマを入替えていることもあって、今月の卓話をYMCA 体育関係、特にウェルネス・フィットネス分野の日本における開拓者であり、YMCA阿南海洋センターの設立に力を尽くされ、所長を勤められた酒井哲雄氏にお願いしました。

ウェルネスの歴史とワイズの密接な関わりを伺ったあとに次のようなお話がありました。

病気・不健康に陥る要素として、①遺伝的要因26% ②環境的要因16%、③病気・医学的要因10%、④その他ライフスタイル48% . . . の4つがありこの4番目のライフスタイルを変革することによって危険因子即ち運動不足・肥満・ストレス・(飲酒喫煙等の)生活習慣を改善、除去することが出来る。

そしてウェルネスは6つの領域[身体面・精神面・情緒面・知的面・社会的面・職業面]の調和を生活の中に取り入れること。特に運動の実践を習慣化し、生活化し継続・定着させることである。とのお話でした。最後に坂井氏ご自身が生活の目標にされている5快=[快食・快便・快眠・快話・快心]を紹介されましたが、私達も共有できるようなライフスタイルと感じました。有意義なお話有り難うございました。

当然の話とは言え、ニコニコ・メッセージの中には『身に沁みるお話』『肝に銘じて頑張らねば』『大変勉強になりました』『5快に気をつけて健康に過ごしたい』などとお礼の言葉が多数ありました。

例会は、山村メネットより中西部会合同メネット会 * 一泊特別例会の説明・連絡。岸川眞二君から6月に終了報告と協力への御礼。山田孝彦君から日本区 * 実施予定の留学生1泊HOMESTAY(別掲)の説明を中心関係報告。MET担当福永嘉彦君から5月30日~31日のメ * とするYMCAニュース等で終了しました。

--- 5月BF報告 ---

切手立君 * 伊藤君 * 上月君
手柴田君 * 杉浦君 * 鈴木君
提隅田君 * 津田葉君 * 平田君
供福永君 * 森君 * 山田君
者山村君 * 秋月君 *

本	切手料	2,338 pts.	累	切手料	37,445 pts.
月	現金料	1,580 pts.	計	現金料	28,580 pts.

使用済み切手として提供された未使用切手は現金ポイントとして計算しております。

7月から、また新年度センテニアル切手ダービーがスタートします。来年こそあなたが優勝者!!

BF担当: 津田葉清政

--- 5月出席状況 ---

第1例会出席会員=21名, メネット=5名
ゲスト=1名 コメント=0名
第2例会出席会員=11名, メネット=1名
※出席率=69% (前月=71%) 会員数=35名
Make Up = 3名

ホスト・ファミリー募集中!

YMCA日本語学校が留学生対象に毎年実施されている『一泊2日週末ホームステイ』協力家庭を募集されています。外国から来て頑張っている学生達に「日本の家庭生活を味わうチャンス！」との趣旨にご賛同頂ける方は岸川連絡主事迄お申し出下さい。

†日 程 = 6月20日(土)~21日(日)

†集合時間 = 6月20日(土) 15:00

†集合場所 = 堂島YMCA・1F [学生との対面式]

†解 散 = 21日(日) 自由解散

†連絡電話 = 06-344-1717



92ワイズメンズクラブ中西部合同メネット会

中西部合同メネット会報告

福永 滋子

5月9日新緑に映える万博の地、サンバレスホテル山水の間で、私どもセンチニアル・クラブがホスト（ホステス？）役を仰せつかって合同メネット会が開かれました。お天気が悪かったにもかかわらず47名ものメネットの方々のお集まりを頂いて、和やかな雰囲気の中に始められました。

山田中西部長、山村部メネット事業主査のご挨拶に続いて鈴木美代子日本区メネット主任のお話へと進み今年度のメネット事業「貧しさと悲惨から抜け出す為の動き」を支えることについてお聞かせ頂きました。

国内外のプロジェクト、①アマゾン台形地YMCAの為に、②アジア学院の為に、③アジア保険研修所の為に... 私達さえも出来るような、小さなわざであっても、続けて行くことの大切さ、また、地球ウェルネスについても浪費・使い捨て・飽食等身近なものから積極的に動かなければ...とのお話で、自らの自制心のなさ、実行力のなさを痛感致しました。

お昼のお食事は季節感を盛り上げた、とても美しくまた美味しいものでした。各クラブのメネット会からは、独自のプルティン発行やY'sへの協力、地球ウェルネス等のご報告、又、賛美歌、メネットソング回りの方々のお交わりなど、とても有意義で楽しい一日を過ごさせて頂きました。ホスト役としての

メネット事業主査を終えて

山村 利子

『わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださるのは神である。』

コリント信徒への手紙一3章6節

私にとりまして、ことは一昨年のクリスマス祝会の時から始まりました。主査のご指名を受けて断ることも知らず、主査とはどんなものかも解らず、うろたえている中に本番が始まり、半年がたっていました。

この一年、山田部長さんにご指導頂きながら、いろいろなクラブを訪問、多数のメネットの方との出会いにも恵まれました。私の未熟さの為お叱りを受け涙したこともありましたが、その度にセンチニアルのメン・メネッツが、この細い細い木に暖かい水を注いで下さり、感謝の涙と変わりました。行き届かぬこと多々ありましたがお許し下さい。

このお仕事をさせて戴いて、私自身少し成長させて頂きました。改めて御礼申し上げますと共に、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

神様の限りないみ恵みに感謝いたします。

* 山村主査を初め、委員の森、平田、隅田各メネットのご苦勞に感謝いたします。また、お手伝い頂いた皆様本当に有り難うございました。

最新スイス事情 谷川 寛

四月の末に再度スイスのジュネーブを訪れました。途中チューリッヒに立寄りましたが、そこで聞いた麻薬のお話。若者の間に麻薬が広まり、その対策として、決められた公園内では麻薬の使用が公認されました。そこでは麻薬患者が堂々と麻薬を使用することが許されたそうです。しかし、これに対して公園の近くの住民から批判の声が上がり、余り麻薬の撲滅に役立たないとして、結局この公園での麻薬使用を再び禁止したそうです。

スイスと言えば永世中立の国として知られ、政治は安定、治安も良く理想の国家として通ってきました。

しかし、昨今の状況は一寸違うようです。先日の国民投票でEC加盟を決めたようですが、スイス・フランの価値も下落気味で、経済運営も旨く行かないと言ったことも関係していると思われます。

これまでは政治経済の安定を理由としてフィリピンのマルコス、イラクのフセイン等から多額のアングラマネーがスイスに流入し、金融王国として栄えて来ましたが、最近ではこの流れも萎む傾向にあります。

これは秘密保持の義務を捨てたことも原因ですが、経済のゼロ成長、インフレと失業の亢進も災いしているようです。犯罪件数も増加の一途とか。

かつて言われた有事に強いスイス・フランの神話は崩れつつあると、プライベート・バンキングの人から聞きました。ジュネーブでのオフィス探しはつい最近まで大変だったようですが、この頃は空室が目立ち始め、テナント募集の広告をあちこちで見かけました。世界有数の高所得社会をエンジョイして来たスイス国民も、ここへ来て大きな曲がり角に差し掛ったようです。会議を終了してジュネーブを去った時は五月初旬になっていましたが、相変わらず冷たい風が吹き、レマン湖面の白い波頭が印象的でした。

5月第2例会兼役員会報告

- ①6月第1例会については前頁のように決定。
- ②7月第1例会については
 - †新会長メッセージの他に、各役員・事業委員から抱負を語ってもらう。
 - †91~92年度活動の表彰を行う。準備隅田書記
 - †当番は黒田・津田葉・谷川・竹廣・柴田君の6班
- ③YMCAわいわいフェスティバルに1口=¥10,000寄付。
- ④YMCA安全の日キャンペーンに去年と同額=¥20,000寄付。
- ⑤堂島日本語学校(研修)見学ツアーの交通費の半額を補助することに決まりました。

十周年記念委員会からの ご報告とお願い

- 前のご報告後2回メンバーが集まりました。少々遅れぎみで申し訳ありませんが、協議しました事項をご報告いたします。委員長平田雅利
- ①記念誌は記録とプログラムを別々にする。記録はクラブメンバーを中心に配布する一方、プログラムは来会者全員に渡るようにしたい。
 - ・記録は余り印刷に経費をかけることはせず、コピー程度にするが、写真を出来るだけ多く入れたい。
 - ・プログラムは楽しいメニュー調のものにし、企画・制作を隅田委員に依頼する。
 - ②記念品は、役員会でマーク入りのものとするのが決定されたので、多色刷費用の見積を取り、役員会の了解を得ることにする。
 - また、産地問屋から特別サービス品として極大型のマグ提供の話が出ているので再度見本を提出する。
 - ③十周年記念事業としてYMCA留学生奨学基金に、ある程度纏まった金額の寄付が出来るよう、役員会やクラブ員みなさんの検討をお願いしたい。

—編集後記— アッという間に時がたち、失敗ばかりの一年でしたが、ブルティン担当としての任期を何とか終えることが出来そうで、これも偏に先輩諸兄姉のご指導、ご援助の賜物と御礼申し上げます。7月からはヴェテランの福永さんが、ブルティンをお引受け下さいますのでご安心下さい。 秋月生





(食事前の勢揃い)

特別例会報告 MET担当 上月英子
 好例の特別例会が5月30日(土)～31日(日)1泊2日のスケジュールで行われました。

北摂の山並みの美しい自然の中、“明治の森・箕面国定公園”の宝持山頂に建つ大阪府勤労者リゾート「みのお山荘」が主会場となりました。

22名(内メネット7名)が参加、新緑豊かな樹々の香りに包まれ、眼下に広がる千里から大阪の街並をめぐり、暫しゆったりした気分になりました。

初夏の味覚に舌鼓を打ちながら、団樂の中に日頃は気付かなかった、お互いの暖い持ち味を分かち合い、楽しいお交わりのひとときを持ちました。

食後の卓話として、谷川IBC委員長から“世界ワイズの動き”について、主要国での活動の推移が紹介され、予想外の現状に気づかされました。

その後突如として、籤引き(テーマ共)3分間スピーチがメンバーの度胆を抜きましたが、そこはそれ、日頃から鍛えた心臓をお持ちの面々、突然与えられた題に自分の話を上手に合わせて、全員アッサリ片付けたのには、流石と感心させられました。

翌朝、箕面の滝周辺を散策、水と自然・楓の若葉のすばらしさを満喫して散会しました。



(谷川寛さんのツボを心得た話に聴き惚れる)



(難行も苦行にならぬ話し振り)



(滝の冷気と新緑の香気に包まれて)



(美味しいものを頂いている時の顔は格別)